金沢医療センター産婦人科

後期臨床研修のすすめ

金沢医療センター産婦人科では、初期研修を修了した３年目のレジデントを募集しています。

当院は、希望と情熱を持ったレジデントに特におすすめできる病院です。

- 金沢市、または石川県、北陸地方でいずれ産婦人科医師になりたい方。
- 転勤の不安がなく、一つの病院でじっくりと産婦人科医療を実践したい方。
- 正常分娩から悪性腫瘍まで、産婦人科医としての幅広い知識・技能を身につけたい方。

スタッフ　４名　　全員が日本産科婦人科学会認定の専門医です。

丹後　正紘　　瀬戸　俊夫　　金谷　太郎　　谷田部　典之

金沢医療センター産婦人科後期臨床研修の特色

1.　研修期間　５年間

後期研修開始時より、日本産科婦人科学会に入会していただきます。初期研修修了者は、学会入会後３年間で産婦人科専門医の受験資格が与えられますので、まずはこれに合格することが目標になります。その後の２年間は産婦人科専門医としての診療を実践していただきます。

2.　研修内容

研修開始と同時に自らの外来枠を持ち、主治医または担当医として責任を持っていただきます。学生時代や初期研修での短期間の研修では、分娩や手術など産婦人科医療の断片的な側面しか伝えることができません。後期研修では、妊娠初期から外来にて妊娠経過を把握し、陣痛発来から分娩にいたるまでの過程を通じて妊娠・出産に対する理解を深めます。婦人科ではまず、子宮筋腫や卵巣腫瘍などの良性疾患の手術適応の決定し、手術および病棟管理、術後の経過観察にいたる一連の過程を理解していただきます。原則として出産および執刀の責任医師となりますが、経験が浅いうちは上級医師立ち会いのもとの出産、および手術助手としての経験を積み、慣れてからも連絡と報告は必ず行うようにしていただきます。

専門医となってからは悪性腫瘍や腹腔鏡手術に対する執刀や、困難な産科症例の判断等、より高度な産婦人科医療を実践していただきます。

3.　後期研修後の進路

当院で５年間研修を積めば、一般的な産婦人科医療はほとんど網羅できますので、その後の進路は自由に選択できると思います。そのまま医療センターへの就職、大学病院や関連病院への異動、学位取得のための研究開始、開業の準備、海外留学など自由に選択してください。もちろん希望される方は研修期間中であっても、異動や大学院進学、海外留学などのチャンネルは常に開かれていますので気軽にご相談ください。

最後に一言

ご存知の通り、日本の産婦人科医療は逆境の只中にあります。しかし、実は大きなチャンスでもあることを多くの人は気づいていません。たとえ分娩数が減っても、少子化が進めばより手厚い産科医療が実践できます。健康に対する意識が非常に高い女性が相手だからこそ、患者さんのニーズを敏感に読み取る感覚が磨かれます。少子化以上に急激に進んでいる産婦人科医師の減少によって、これから産婦人科を志す医師の希少価値が高まっています。少しでも興味を持った医学生・研修医の諸君は、当院庶務を介し、ぜひ金谷まで連絡をください。直接話したいこともたくさんあります。

当院で研修いただける皆様を心からお待ちしています。